



# 議会だより

2011

No. 85

題字は川崎小6年 <sup>ともなが</sup>友永 <sup>あかり</sup>朱莉 さんです

平成23年7月28日(年4回発行)

発行: 大分県日出町議会

電話: 73-3135



「今年の夏もあちいで〜」(ホテルソラージュ大分日出)

(撮影: 藤井博幸)

## 目次

- 23年度一般会計補正予算 .....2
- 常任委員会 .....4
- 一般質問(6人) .....6
- 町民の声 .....12

# 東日本大震災支援や防災対策費計上

23年度一般会計補正予算は、震災支援や海拔表示設置、緊急雇用創出事業費などで、7750万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ90億2800万円とするものです。

## 予算委員会

予算委員会は6月15・16・21日の3日間の日程で開催されました。専決予算議案3件、23年度一般会計補正予算他2件の議案を審議、慎重審査の結果6議案すべてが可決となりました。

### 23年度一般会計補正予算

#### 主な歳出

##### 【総務費】

- 東日本大震災支援措置として、宮城県亘理町の被災者の方々に寄付金を町費から計上します。

500万円

- 消防団員活動支援のため、団員夏用活動服を支給します。

60万円

- 町内の防災体制を見直すため、町内85地点の海拔調査を行い、海拔表示板を設置します。

200万円

##### 【民生費】

- 介護基盤緊急整備事業県補助金を活用し、認知症高齢者グループホーム「すずらん」の増設整備補助を行います。(全額県費)

3540万円

- 児童虐待防止対策強化事業として広報啓発のためのチラシ全戸配布研修会を開催します。

66万円

- 母親クラブ補助金増額

6万円

##### 【農林水産業費】

- ハウス農家の重油価格高騰に対する負担軽減のため、重油の基準価格を上回る分の4割を補助

187万円

- 農業実践大学生奨学金

12万円

##### 【商工費】

- 的山荘の管理運営から、高圧受電設備を設置します。

595万円

##### 【土木費】

- 緊急雇用創出事業特例交付金を活用し、下水道台帳整理、水洗化普及推進事業を委託します。(全額県費)

1693万円

##### 【教育費】

- 自治公民館建築費補助で豊岡中の二公民館改築(総額443万円)を限度額で補助します。

100万円

- 的山荘の将来的な保存・整備計画のため、詳細調査を委託します。

128万円

- 県教委から、大分元気づ子体力パワーアップ事業「推進校の指定を受け、体育環境整備・体育授業充実を進めます。(全額県費)37万円

#### 歳入

「介護基盤緊急整備事業県補助金」「緊急雇用創出事業臨時特例交付金」など事業実施に伴う県支出金、一般寄付金、用品調達基金、まちづくり基金、財政調整基金繰入により措置しています。

### 22年度一般会計補正予算 専決処分

事業の確定などにより、予算の総額から1183万を減額し、補正後の総予算は90億652万円となります。

#### 主な歳入

- 町税 3361万円増
- 地方交付税 3001万円増
- 各交付金 2246万円増
- 国県支出金 517万円増

- 町債 2930万円減
- 繰入金 6990万円減

#### 主な歳出

- 重油価格高騰緊急支援事業補助金 363万円増
- 川崎小学校耐震補強事業 1919万円減
- 長野線・鳴川今井線道路改良事業 763万円減
- 合併処理浄化槽設置事業 382万円減



予算委員会審議風景



# 6月定例会

6月9日から24日までの16日間の会期で開かれました。条例改正や予算など承認7件、議案11件、同意1件、報告2件、請願2件を審議、慎重審査の結果すべて原案どおり可決・採択しました。また一般質問には6人の議員が登壇し活発な論戦を展開しています。



安養寺ふれあい広場

## 23年度一般会計補正予算 専決処分

予算の総額に4025万円を追加し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ89億5025万円とするものです。

### 歳入

- 東日本大震災被災者緊急支援事業として宮城県亘理町の被災者に義援米として日出町産のもち米を提供します。 175万円

- 岩手県宮古市に職員3名を派遣 148万円

- 6月1日をもって議員年金制度が廃止されたことに伴う、議員共済会負担金増額の追加 3701万円

### 歳入

- 財政調整基金繰入 4025万円

### 専決処分

本来なら議会の議決が必要な事項を、首長が議会に諮らず自分で決めること。地方自治法に基づく行為。緊急で、議会を招集する時間がない時など限られた場合にのみ認められている。

## 安養寺ふれあい広場芝生化予算縮小

23年度当初予算計上していた安養寺ふれあい広場芝生化事業、6月に芝生植え付け作業を終え、7月には使用開始を予定していましたが、しかし東日本大震災の影響によるくじ助成金の減額や資材不足のため、予算・施設整備内容・工期ともに大幅な変更が生じるようになるため再審査を行いました。

### 予算減額

- スポーツ振興くじ助成金 3453万円から711万円減額で

- 町単費負担 2742万円

- 863万円から304万円減額で 559万円

### 整備工事費減額

- 3553万円から997万円減額で

- 芝植付作業 2557万円

6月25日を9月17日に変更、23年度中に青々とした状態にはならないが、根付くことと24年4～5月に成長する

グラウンド使用開始

7月16日から10月8日に変更（植付後3週間養生）

楽しく安全な憩いの広場、スポーツ交流の拠点として、また競技力の向上も見込まれる芝生化で、生まれ変わる安養寺ふれあい広場。施行・完成後の維持を含め、徹底した管理を行い不備がないよう委員会では強く指摘をしています。

## 議会改革調査特別委員会

全議員から募った議会改革に関するアンケートに基づき、改革項目を整理したうえで検討を重ねています。まず要望の多かった項目、すぐに取り掛かれる項目を優先し、予算を必要とするものや調査研究を要するものは、今後時間をかけ審議することになっています。

閉会中4月19日、また今定例会で、

- 一般質問の時間延長

- 議員定数（2名減）の見直し

- 議会のテレビ中継

- 土日夜間議会の開催

について主に協議しました。その結果、一般質問は今定例会から議員の質問時間を30分、執行部の答弁は無制限とし、質問者は時間を気にすることなく、しっかりと議論することができるようになっています。また、町民に開かれた議会をめざし、9月に日曜議会を開催することを決めています。議員定数の見直し、本会議のユーチューブ放映はもう少し研究の余地があるため引き続き検討していきます。

9月4日

## 「日曜議会」開会

23年度9月議会では、町民の皆さんに議会活動を理解していただき、「開かれた議会」のため、一般質問を日曜日に開催します。多くの町民の皆さんの傍聴をお待ちしています。今後も議会の公平・透明性を確保し、町民の皆さんの意見を反映させる議会を目指し、議会改革にしっかりと取り組んでいきます。（詳細は最終ページ）

# 常任委員会

## 総務

### 議案の審査結果

#### 東日本大震災の 被害者負担軽減

日出町税特別措置条例の一部改正（専決処分）は、東日本大震災の被災者などの負担軽減、個人住民税に係る特別措置などを講ずることを目的として、第4条（半島振興法）および第6条（企業立地促進法）の中の「平成23年3月31日」を「平成25年3月31日」に延長するものです。

日出町税条例の一部改正（専決処分）は、地方税法の一部が改正され、東日本大震災にかかる損失額は、次の内容が町県民税に適用できるようにするため、所要の改正をするものです。

- ・納税者の選択により、雑損控除の適用を23年度個人町県民税より受けることができるようになりました。
- ・雑損控除を適用して、前年分の総所得金額などから控除しても控除しきれない損失額の繰越期間を3年から5年に延長されました。

日出町税条例の一部改正



十分な委員会審議

は、東日本大震災の被災者などの負担軽減を目的として、所要の改正をするものです。

改正の内容は、住宅借入金等特別税額控除の適用を受けていた住宅が、東日本大震災により居住の用に供することができなくなつた場合においても、控除対象期間の残りの期間に引き続き税額控除を適用することができるとなりました。

#### 非常勤職員の育児休業

職員の育児休業などに関する条例の一部改正は、

関係する法律の改正に伴うものであり、これまで育児休業の対象外だった非常勤職員にも育児休業の取得を認めるものです。

#### 閉会中の審査

4月22日開催

総務課

3月11日に発生した東日本大震災に対して、「日出町東日本大震災支援の会」を立ち上げ、募金活動を行い、被災地へ義援金を送った旨の報告を、また本町での緊急時防災体制の説明を受け、

質疑を交わしました。財政課

震災による財政への影響を十分把握して、今後の補正対応など組み立てに對して町民に、議会に十分話した上で有効な施策が遂行できるような要望をしています。

政策推進課

地域公共交通のあり方をもう少し掘り下げて調査し、今年度協議会を開催し、項目をpushさながら方向性を探して取り組んでいきたいとの説明を受けています。

## 産業建設

### 議案の審査結果

#### 育成牛貸付事業廃止

日出町特別導入事業にかかる基金条例の廃止は、畜産農家への育成牛貸付を行う、国の特別導入事業廃止に伴い、基金条例を廃止するものです。

#### 浄化センター大増設

工事委託に関する協定の締結

公共下水道日出町浄化センターにおける汚水処理量の増加に伴い、日本下水道事業団の技術援助を受け、水処理施設3系

列目の機械、電気工事の増設建設工事委託（4億3千万円）に関する協定を締結するものです。

#### 町道の廃止・認定

町営楠住宅廃止に伴う道路改良で、川崎公営住宅線を廃止・町営楠住宅廃止に伴う道路改良で、川崎楠線を認定するものです。

また1年前に工事をした的山荘前町道のカラー舗装が剥離している箇所があるため、6月17日現地視察を実施しました。

#### 閉会中の審査

4月28日開催

上下水道課

上水道と簡易水道の料金体系の説明を受け、人口増加地域での適用を検討しています。

商工観光課

町の観光と重点項目としての緊急雇用創出事業などの説明を受けました。中高年齢者などの雇用就業機会への創出を行う緊急雇用創出事業は、3年目の最終年度となります。

農林水産課

重油高騰に伴う緊急対策事業でハウス農家に4・5月分を補正予算で支援します。また東日本大震災で被災した宮城県亘理



# 常任委員会

## 社会厚生

議案の審査結果

出産育児一時金

町に、もち米3・5トンの災害支援米を送る計画です。都市建設課、陽谷駅周辺地区都市再生整備事業の事前調査として、亀川駅自由通路の現地視察を行いました。



「なしこげえ剥げぢよんの？」(的山荘前)

日出町国民健康保険条例の一部改正は、健康保険法施行令の出産・育児一時金35万円を39万円に恒久化するものです。

日出町国民健康保険条例の一部改正は、地方税法施行令の国民健康保険税医療分上限額を50万円から51万円、後期高齢者支給金分上限額を13万円から14万円に、介護分上限額を10万円から12万円に改正するものです。

### 保険税上限額アップ

### ホームヘルプサービス拡充

日出町ホームヘルプ派遣手数料条例の一部改正は、従前の派遣手数料の対象者に対するサービスが、障害者自立支援法に基づきサービスマンに移行したため、難病患者などのホームヘルプサービス事業を実施するものです。

### 「ペット火葬場建設反対に関する請願書」を趣旨採択

町としてできること、できないことは明確であり、議会が押し付けることとは行政権の乱用にもつながりかねません。事業予定者に一定の働きかけや強い指導を行ってまいります。

### 「義務教育費国庫負担金制度の堅持・教育予算拡充を求める意見書」

子どもたちに、教育の機会均等と教育水準を保証するために必要不可欠な制度で国負担率を2分の1に還元することを含め、制度の堅持を求め提出するものです。

### 土壌の検査体制の確立

生活環境課からは小規模堆積事業にかかわる日出港の土砂荷揚げの説明がありました。県は書類

が揃っているもので6月中旬に許可書を交付するとしているため、町独自の検査体制確立、放射能測定装置の購入を求めました。

### 閉会中の審査

5月13日開催  
教育総務課

特別支援教育支援緊急雇用対策事業、豊岡小学校本館改築事業、川崎小学校耐震補強工事並びに中学校校舎体育館耐震調査を実施していくと報告を受けています。



川崎小学校の耐震補強工事

生涯学習課  
安養寺ふれあい広場の芝生化事業、芝生の植え付け後の散水方法、ボーリングか上水道を利用するか早急で調査して報告するように求めています。

学校給食共同調理場  
大災害時の食料供給に必要な公的施設は給食センターしかないの、多機能なセンターにするためには現在の老朽化した施設を改善していくように、場所も含めた検討委員会を立ち上げ審議するように要望しました。

# 一般質問

# Q&A ここが知りたい

**問** 地震による町の避難対策を

**答** 地域防災計画で見直します



佐藤 隆信 議員

**問** 東日本大震災を教訓とし学ぶことは、いつ大きな災害が起きても、最小限に被害を抑えることができる日常の対策が必要ということですか。これまで町が避難所としていた公民館などで対応できない箇所があるのではないのでしょうか。また、海に近い地区には海抜標識を早急に設置する必要があると考えますか。

**答** 今後、見直しを進める地域防災計画のなかで、災害想定が適応した形での避難所の設定を行います。また海抜表示標識は、事業費200万円で町内の海岸部に限らず主な公共施設、道路、避難所などに設置したいと考えています。

**問** 避難所としてはその役をなささない公民館を建て替えようとする場合、また、老朽ため池を修理しようとしても多額の地元負担が発生します。補助金、地元負担の見直しを。

**答** 現在避難所の見直しを行っています。が、避難するところが自治公民館しかなければ、補助金については関係課と協議しながら検討していきたいと考えています。

**問** 老朽し危険地区として指摘されたため池は、防災の観点から危険度合いを考慮し検討する必要がありますか。あわせながら、負担金の



「ちゃんと消さんとなあ！」(消火訓練)

## 国民健康保険税の資産割の廃止を

問題などを十分に検討する余地があるのではないかと思っています。

**問** 農林業、中小企業の人たちは、国民健康保険料が高くて払えないと泣いています。町は土地建物に保険料30%をかけていますが、県下で資産割をかけている市町村はどこですか。また、夫婦2人の農家が水田一町歩作つたときの国保の資産割、税額はいくらになりますか。

**健康増進課長** 資産割を行っているのは、国東市、豊後大野市、玖珠町、姫島村と日出町の5市町村です。

**税務課長** 2人世帯で、所得80万円、水田一町歩で資産割5万円、介護保険を2号保険とすると税額的には16万300円になります。

**問** 町民の健康を考え、制度を維持するため、国保・介護保険税が高額でこれ以上払えない状況をつくるのではなく、資産割を廃止するか、保険税一万円引き下げがで

ないか。  
**町長** これまでも医療や保険は重視してやっていますが、それ以上に今後とも十分内部で検討し、どういう対応ができるか精査させていただきます。

## カラー舗装は工事・入札とも適切だったか

**問** 日出小学校からの山荘までのカラー舗装は、もう剥がれている箇所があるが、いったいどうなっているのか。

**都市建設課長** 舗装の荒れは重要な問題であります。早速調査を行います。早急とした形で報告したいと考えています。

**問** 同じ工事で1カ所は町内業者、もう1カ所は町外業者が受注し施行しているのはおかしい。町内業者でできるのであるならば、町の単独工事は町内業者に発注すべき。

**町長** 全体金額や工事の種類で判断し、指名委員会ですらに業者を選定していますが、意見を十分踏まえて対応させていただきます。



# 一般質問

# Q&A ここが知りたい



熊谷 健作 議員

**問** 豊岡ふれあいセンター分館の今後の方針は？

**答** 取り壊しの方向ではあるが、今後地元と協議していきたい

**問** 豊岡ふれあいセンター分館は取り壊して更地にすると聞きました。が、現状の管理と今後の方向は。

**総務課長** 築40年を経過して老朽化が進み、耐震基準も満たしていません。利用者の安全のため閉鎖を考慮しています。

**問** 耐震工法の検討や予算の見積りは。また補助金などの、各省庁への打診は。

**総務課長** 耐震工事に約3千万円の見積りです。また、防衛庁の補助金で建設された建物ですが、今はありません。

**問** 地元住民や関係団体への周知は。

**総務課長** 6月2日に地元7区長から意見を聞きました。結論が出ていないので、地元および関係団体へ周知はしていません。

**問** 災害時の避難場所となつていますが、今後は。

**総務課長** 今年度の防災計画見直しの中で検討します。

**問** 投票所の機能はどこに。直近の選挙で1234人の有権者がいます。豊岡公民館まで行かないのでは。

**総務課長** 地元区長さん方に聞いた上で、適当な場所を探します。

**問** 2日の区長さんの話し合いの中身は。

**総務課長** 存続してほしいという意見でした。

**問** 当施設は住民の心より所であり、セーフティネットの一部です。周辺部がこれ以上さびれて



「ほんとに壊すんかえ？」(豊岡ふれあいセンター分館)

## 水道水源保護条例の改正

**問** 町の大きな特色である「おいしい水」を外国資本などから守るた

ていいとお考えですか。

**町長** 行財政改革を進める中で現在の形になりました。この施設は、今後地元、特に本町・仲町の方から、財政負担を含めた提案を受けた上で協議していきます。

め、対象地域を鹿鳴越山系全体に拡大し、規制を強化するべきでは。

**上下水道課長** 将来の水安定課題と水資源保護の点で有意義であり、関係機関、上位法を勘案しながら取り組みます。ただ、森林法ですすでに規制されている面はあります。

**問** 費用もかからず、町の内外へのアピールの利点もあるのでは、前向きにお願ひします。

**町長** 企業誘致の兼ね

## 災害時の要援護者への救援対策

合いもあります。趣旨に異論は無いので今後とも激励しながらやってまいります。

**問** 高齢者や障がい者の確認と救護者の確保など、各区の自主防災組織だけでは対応できないと思われ。行政としてできることは。

**福祉対策課長** 要援護者の名簿は実態調査を行い、本人、家族の申し出によつて区長、民生委員へ提供しています。登録数は378名です。個人情報ですので本人の承諾が無ければ登録されません。救護者は近隣のすぐ駆けつけられる人を定義しています。

**問** 課題も多く難しいと思いますが、区長さん、民生委員さんに頼りすぎるのは無理があるのでは。

**町長** 自主防災組織を実質的な組織に変え、役場各課で連携し検討していきます。

# 一般質問

# Q&A ここが知りたい

## 使用料条例の 改正を

問

## 減額する方向で 検討します

答



工藤 健次 議員

**問** 公共施設の使用料が高いと言う声があります。一例をあげると学校の体育館を使用する場合に杵築市は1時間200円・日出町は500円で未使用の場合には、条例で使用料を還付しないことになっています。公共施設は、町民が気軽に利用できる施設であるべきで、最低限の負担で使用できるように、使用料条例の見直しについて町長の見解を。

**教育総務課長** 小中学校体育館使用料は、近隣市町の杵築市200円・国東市300円・宇佐市・豊後高田市は、町と同じ500円・別府市は午後5時以降1回1470円になっています。

各市町とも、施設未使用の場合は町と同様使用料の還付は実施していません。

使用料の見直しおよび還付は、今後関係課と十分協議をして条例および規則の見直しを含めて検討していきたい。

**町長** 地域作り、健康増進、体育、スポーツを振興するとかいろいろな観点がある訳で、近隣市町からすると若干高い感じがするので、教育委員会に最低限の負担で減額する方向で検討をさせています。

## 学校耐震化と 防災教育

問

東日本大震災の後、国は地震防災対策特別措置法の改正を実施し、

学校の耐震化を急ぐ方針を出しましたが、町も学校耐震化の計画見直しを含めて前倒し実施の考えは。

**教育総務課長** 学校は、災害時地域の人々の緊急避難場所の役割を果たすことから、町の重要課題として27年度終了をめどに計画を進めています。

耐震化は、昭和56年以前に建設され、面積200平方メートル以上の施設となっており、耐震診断の予定は7施設（藤原・大神小校舎、大神小・大神中体育館、豊岡・日出・真那井幼稚園）が対象で、1年でも早く耐震化を終了するよう最善の努力をしていきます。

**問** 学校での、防災教育と防災訓練の現状について。

**学校教育課長** 平成7年の阪神淡路大震災後、各学校で防災計画を作成し地震・火災・不審者進入などを想定した防災教育・訓練を年に2、3回実施しています。

## 救援物資の 備蓄状況

問

災害時は、最低限の救援物資が必要になります。備蓄状況は。

**総務課長** 2ℓのペットボトルが360本・毛布100枚・マスク60万枚・病気防止用マスク1万枚となっており、大規模災害に対応の備蓄は



「体育館よう 使いよるんでえ〜」（フレンズのみなさん）

きていない状況です。今回の地域防災計画の見直しの中で重要項目の1つであると考えており、大災害発生時に対応が可能となるよう検討していきます。

## 質問を終えて

検討・見直しは早急に



# 一般質問

# Q&A ここが知りたい

**問** 下水道事業！  
加入募集をしているか

**答** 今後強力に  
普及促進を図ります



後藤 佑 議員

**問** 下水道に接続している家庭の加入率は何%ですか。

**上下水道課長** 下水道事業では、この率を水洗化率と呼んでいます。公共下水道は78・3%、漁業集落排水は86・5%、農業集落排水が、78・5%です。県下で水洗化率は6位、生活排水の処理率が、5位です。町は人口が密集地が増えていまして、なかなか率が上昇しないのが実態です。水洗化率向上に

向けて努力しています。勧誘月間みたいにキャンペーンを実施するとか考えていますか。

**上下水道課長** 管工事の際に地元説明や戸別訪問など啓発しています。本年度は、緊急雇用創出事業に業務委託して申請の普及促進を図る予定です。戸別訪問による啓発とアンケート調査による実態把握を考えています。

**問** 浄化槽を使用している家庭からの臭気があると言われていますが、担当課として、把握していますか。

**上下水道課長** 取り付け時は、県の管理センターが、検査します。以後は、個人の責任で管理することになっていきます。年3回の維持管理を実施しますが、臭気はでないと思えますが、個人の中に立ち入れないのが現状です。

シルバー頑張っていますか

**問** シルバー人材センターが4月1日からスタートし、まだ2カ月ですが手応えはいかがですか。

**商工観光課長** 2月1



「あちいけどがんばらなあなあ〜」(シルバー人材センター)

日から2カ月間の準備期間を経て、4月から業務を開始しています。設立時63名だった会員も現在88名と増加の傾向にあります。順調なスタートを切ったと思っています。

**問** 2カ月間の実績はいかがですか。

**商工観光課長** 草刈り、草取り、庭木の剪定や消毒、左官に大工、塗装などいろいろの仕事をお願いしています。できる限り高齢者の生きがい対

策となる部分で仕事があれば、どんどん引き受けていきます。この2カ月間で80名の人が作業に従事しています。

保健福祉センターの活用できないか

**問** センターの有効活用は浴室の利用しかないと考えますが。

**福祉対策課長** 建設当初(平成13年)は、生きがい型デイサービス事業

を社協に委託し入浴サービスを実施していました。その後18年度から社協の自主事業をして引き継がれた際は使用されていません。町内には多くの温泉施設があり、既存施設の利用をお願いしたいところです。

**問** ランニングコースは、日に4000円から4500円です。20名の人が利用したら一人2000円です。町民が気持ち良く利用できるような施設に是非していただきたいと思えます。

**町長** 以前からこの浴室などセンターの有効活用は、議論してきましたがなかなか良い案がなく、今日までできたことが事実です。入浴問題を含めて有効な活用方法を考えたいと思っています。

質問を終えて

訪問活動などで、加入率アップを頑張ってください。

# 一般質問

# Q&A ここが知りたい

住民一体となり  
災害に強い町づくりを

最大限の努力を  
していきます



池田 淳子 議員

問

答

**問** 東日本大震災を受けて、防災意識が高まっている今こそ、防災に対する認識を深めることが大切な時期です。町でも、地区ごとに避難場所の周知徹底を図り、住民参加の定期的な避難訓練など、取り組むべき課題はたくさんあると思いますが、町として今後の取り組みは、

**答** 東日本大震災を受けて、防災意識が高まっている今こそ、防災に対する認識を深めることが大切な時期です。町でも、地区ごとに避難場所の周知徹底を図り、住民参加の定期的な避難訓練など、取り組むべき課題はたくさんあると思いますが、町として今後の取り組みは、

**問** 防災メールシステム加入者が260名というのはいま少ないと思いませんか、加入のための啓発活動は、

**答** 防災メールシステム加入者が260名というのはいま少ないと思いませんか、加入のための啓発活動は、

**問** 65歳以上のひとり暮らしの方に限定せず希望者にはすべて配布しては、

**答** 65歳以上のひとり暮らしの方に限定せず希望者にはすべて配布しては、

## 学校施設の 防災機能の向上

に取り組んでいきます。

問

公立学校は災害発生時には地域住民の応急的な避難場所となります。耐震性の確保だけでなく、食料、生活必需品などの備蓄をするなど避難生活に必要な諸機能を備えることが求められています。町の現状と今後の計画は、

総務課長

町内の中学校施設すべて災害時の避難場所に指定しており、本来であれば学校防災倉庫といったものを設置し、毛布、救援用資機材や食料などの生活必需品の備蓄は、今のところ不備な状況です。本年度、地域防災計画を見直す中で、災害の種類や被害予想範囲、被災戸数、被災人数など想定をする中で、どの程度備蓄をすれば対応が可能であるか、専門家の意見を聞きながら検討していきたいと思えます。

## 救急医療 情報キットの活用

自宅に本人の医療情報や薬剤提供情報書

問

を専用の容器に入れて保管しておくことで、救急車の要請があつた場合必要な情報がすぐに伝わり、その情報を生かし、適切且つ迅速な処置が行えます。町でも取り組む計画があるようですが、対象者や内容、詳細はどのようになっていますか。

健康増進課長

総務・福祉対策・健康増進の3課合同で体制を作り、検討しているところです。対象者は65歳以上のひとり暮らしの方に加えて、要援護者も対象に加える

質問を終えて

町民一人ひとりが防災意識を持ち続けられる取り組みを



「ちゃんと保管せんと」(他市の救急医療情報キット)



# 一般質問

# Q&A ここが知りたい

**自治体間の相互応援協定を推進せよ**

問



森 昭人 議員

**実現に向け努力していきます**

答

**問** 防災計画の見直しが行われていますが、何名の職員がこの任にあっていますか。

**総務課長** 総務課行政係の係長以下3名で対応しています。

**問** 東日本大震災を受け、見直す防災計画は、これまでより一歩踏み込んだ推進方策や具体的な公共施設の耐震計画などを盛り込む必要がありません。3名体制では無理で

**問** 防災対策全般に

**総務課長** 各課所属長をメンバーとする検討委員会を早急に立ち上げて、その組織で内容について協議をしていきたいと考えています。

**問** 大規模災害発生時に被災自治体単独では応急復旧活動を満足に行えません。物資の救急、医療救護や緊急輸送活動など被災自治体をサポートする自治体間の相互応援協定、民間事業者と災害時応援協定の締結を推進すべき。

**総務課長** ぜひ実施に向け検討していきたいと思いますが、具体的の一つ、国交省大分河川事務所から5月に働きかけがあり、近いうちに協定を結びたいと思っています。また、民間事業者ともいろいろ研究させてもらい、実現に向け努力していきたいと考えています。

**問** 防災対策基本条例の制定



「遠くまで聞こえるでえ」(防災行政無線)

関して、町、町民および事業者の責務を明らかにするとともに、施策の基本方針を定め、防災対策を総合的かつ計画的に推進するため、「災害対策基本条例」を制定すべき。

**町長** 条例の策定は、十分検討させていただきたいと思えます。災害の予防と被災後の対応は、地域住民、各職場、役場を含めた職域組織など全部に関係することから、余りに広大で課題が多い

## 暘谷駅改修・周辺整備を急げ

と考えます。どういう方策がいいのか、しっかりと見定めてできることから取り組んでいきたいと考えています。

**問** 暘谷駅周辺整備は、南北交通広場、駅舎の移動、自由通路やトイレなどバリアフリー化を含めた大改修となるが、予想される設計・建設費

**質問を終えて**  
防災はもちろん、被災後の対応もしっかり検討すべき。

は？

**都市建設課長** 各施設がJR施設に密接に関係することから、町独自の算定とはいかず、関係機関と詳細な協議が必要です。今年度から、概ね5カ年計画で日出町都市再生整備事業として可能な限り国、県の助成を求めながら積極的の事業推進に向け努力していきます。

**問** ケーズデンキ、亀の井ホテル誘致後、残る高校跡地グラウンド部分の利活用は今後どのような方針が進めますか。

**商工観光課長** 複合商業施設などの誘致を考え、民間からの事業提案を募集したいと考えています。現在敷地の整備時期の構想を具体化するために政策推進課を中心に、関係各課により整備のための基本計画を検討しています。

# 町民の声

## あいさつは心の灯火ともしび

川崎辻の尾区

藤田和子



朝、8時前後に登校する子ども達の賑やかな声が聞こえてきて私の足は沿道へと向く。「おはようございます。」のあいさつ、「行ってらっしゃい。今日は水泳があるの？かっこいい服を着ているねえ。」下校時に伏し目がちに帰宅を急ぐ女の子に「ひとりで大丈夫かな。気を付けて帰ってね。」限られた時間の中で行動している子ども達にとって、年寄りの言葉掛けは却って迷惑かなと思う日もある。

先日、大分の街であいさつ運動の一環として「大人が変われば子どもも変わる」の呼び掛けの様子をテレビで見た。私は人との行き違いや交通機関を利用する際に一面識も無い方でもあいさつや言葉掛けをする様に心掛けていた。このような私の姿に「ばあちゃんは今全く知らん人にもよく話しかけるなあ！」と子や孫達から言われる。また幼いと思われる子ども達に在っても、近隣や地域における大人同志の交流や連帯感の様子など鋭く察知

し、その子なりに大人の批評ができるよううだ。

以前「あいさつはまず家庭から」の標語が掲げてあつたのを思い出す。過言で申し訳ないが我が家を含めて皆さん方の家庭でどの程度あいさつが浸透されておられるだろうか。駆け回る多忙な日々であれば尚のこと「忙中、閑あり」。時には立ち止まり、後ろを振り向くことであいさつの言葉が増え、家族の絆がより深まっていくように思える。

東日本大震災で小学校に通う娘さんを亡くされたお母さんの言葉が私の耳に残る。「お母さん行って来ます。今日は早く帰るよ。」それが娘の最後の言葉になりました。もつと語りかけをしていたらと嘆かれておられた。

おぞましい世の中、一寸先が闇の現世。それ故にあいさつは足許を照らしてくれる灯火であり、絆であり、そして安心感をもたらしてくれる良薬であろうと私は思える。

### 議会の今後の予定

9月

- 1日(木) 定例会(初日)
- 4日(日) 定例会
- (議案質疑・一般質問)
- 6日(火) 常任委員会(予算)
- 7日(水)～9日(金) 特別委員会(決算)
- 13日(火) 特別委員会(決算)
- 15日(木)～16日(金) 常任委員会
- 20日(火) 常任委員会(予算)
- 21日(水) 議会報委員会
- 26日(月) 定例会(最終日)

### 日曜議会(一般質問)を

傍聴してみませんか

期日 9月4日(日)  
定員 一般席30人(定員を超える場合は別室にてモニター視聴)  
受付 当日、議会事務局において午前8時30分より傍聴券を交付します(先着順)

※他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している場合など傍聴席に入ることができないことがありますのでご了承ください。

### 編集後記

最近、地方議会と首長の対立がクローズアップされています。大阪府知事や名古屋市長の言い分を丸呑みするにせよ、実際の力関係は圧倒的に首長の方が上でしょう。当町でも、町執行部から提出された予算や議案について、委員会などで議論の後、批判し、見直しを迫るものもなかなか覆るものではないですね。

議員も近隣自治体の情報や専門家の意見を参考にし、研究しているのですが、執行部は提出者としての自信と面子があるのでしようか、一度出したものを引つ込めることはありません。そうすると本会議で否決、修正しかありませんが、予算などは町民生活に直接影響があるため全体として認めざるをえなくなります。こうした議会の葛藤や煩悶する場面も小紙を通じて皆様にお伝えできればと思っています。

(熊谷 健作)

編集委員長 森 昭人  
副委員長 池田 淳子  
委員 熊谷 健作  
委員 田原 忠一  
委員 工藤 博幸  
委員 藤井 博幸